



「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指して

校長 早川 和男

新年度が始まってから1か月が経ち、新緑の5月を迎えました。子どもたちは、入学・進級した新しい教室にも慣れ、学校生活が軌道に乗ってきたところです。新1年生もすっかり小学生の振る舞いが板についてきました。去る4月11日（水）には「1年生を迎える会」が行われました。また、19日（木）には「委員会紹介集会」がありました。どちらの行事においても大活躍だったのは、6年生です。「1年生を迎える会」では1年生の手をひいて、やさしくエスコートしている6年生の姿はとても頼もしいものでした。ご存じの通り、6年生は入学式の翌日から毎日、1年生のお世話をしてくれています。登校時には教室で出迎え、学習の準備をするのを手伝ったり、休み時間に一緒に遊んだりしています。登校から下校まで丁寧に1年生のお世話をしてくれています。また、「委員会紹介集会」では、各委員会の委員長さんが自分の委員会の特色や全校児童へのお願い等を堂々と発表することができました。5年生も含め、十三小の高学年児童の態度を見て、これなら大丈夫と実感しました。



さて、先日は学校説明会・保護者会にご参加いただき、ありがとうございました。説明会の中でも少し触れましたが、平成32年度から施行される新学習指導要領に基づく教育を部分的に前倒して今年度から取り組んで参ります。新学習指導要領では、以下の3点を重点としています。

- (1) 生きて働く「知識・技能の習得」
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」
- (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」

これらの能力を培うために、本校では「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指します。「主体的」とは、自らすすんで行うこと。「対話的」とは、子ども同士、教職員や地域の方、先人等の考え方を手がかりに自己の考えを広げ深めること。「深い学び」とは、各教科等の特質に応じた“見方・考え方”を働かせながら知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたりする学習のことです。もちろん、これらの学習は、今までも重視してきた学習ですが、今回の学習指導要領の改訂によってさらなる充実を目指すものです。

本校としては、「主体的・対話的で深い学びに取り組む児童の育成」を校内研究のテーマに据え、授業研究を通して、児童に時代の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育むことを目指し、授業改善に取り組んで参ります。

○十三小の校庭では、毎朝、ラジオ体操会連盟の皆さんが、朝6時30分からラジオ体操をされています。チャンスがあれば、お子さんと一緒に参加されてみてはいかがでしょうか。



○5月の芝刈りの予定

月曜日 (15時30分～)	水曜日 (14時30分～)	金曜日 (14時30分～)	土曜日 (10時～)
7日 14日 21日 28日	2日 9日 16日 23日 30日	11日 25日	5日 19日